



小山田地区まちづくり構想

平成 30 年 3 月
小山田地区まちづくり構想策定委員会



ごあいさつ

小山田地区では、その地形的制約などから地区内の9町がそれぞれの特色を生かしながら、個性あふれるまちづくりを進めてきました。しかし、人口減少や高齢化、地区の経済を支えてきた農業の低迷など、小山田地区を取り巻く環境は非常に厳しさを増しています。

こうしたなか、四日市市が制定した「四日市市都市計画まちづくり条例」に基づき、地区で策定した構想を市に提案することができる制度を活用し、行政と協働でまちづくりを進めていくため、平成26年9月に「小山田地区まちづくり構想策定委員会（以下、「まちづくり委員会」という。）」が約2年間の自治会による準備を経て、各団体の推薦委員や住民公募の委員が集まり発足しました。以降、月に1回程度、まちづくり委員会を開催し、「小山田地区まちづくり構想」の策定を進めてきました。まちづくり委員会では、地区をまわり実際に現地を見ることなども含め、問題点や地域資源の共有を図りながら、構想策定のために30回以上に及ぶ会議を開催しました。さらに、小学生にアンケートを実施したり、構想案を各世帯に配布し、意見募集したりすることにより、より多くの住民の声を反映するよう努めました。

その結果まとまった「小山田地区まちづくり構想」では、「**世代・時代・地域を越えて『つながろう・つなげよう小山田』**」を基本理念（大切にしたいこと）とし、将来像として「**子孫に残す 元気で住み続けられるまち 小山田**」を目指すこととしました。まさに、小山田地区の住民がひとつにつながって、ともによりよい小山田を築いていく取り組みを進めることにより、私たちの美しいまち小山田が子や孫、そして未来へと引き継がれていくことを願うものです。

平成30年3月

小山田地区まちづくり構想策定委員会

目 次

○ ごあいさつ

1 はじめに

- 1. まちづくり構想とは 2
- 2. 小山田地区のあらまし 3

2 基本的な考え方

- 1. 基本理念（大切にしたいこと） 6
- 2. 将来像（小山田の目指す姿） 7
- 3. 基本目標（小山田が向かうべき大きな方向） 7
- 4. 体系図 9

3 取り組み方向

- 1. 人と人とのつながりで、だれもが安全・安心に暮らせるまち 12
- 2. 活気があり、快適に暮らせるまち 19
- 3. 自然や農業を通じてまとまり、つながるまち 25
- 4. ふるさと愛を育み、発信するまち 31
- 5. まちづくり構想図 35

4 まちづくり構想の実現に向けて

- 1. 推進体制 38
- 2. 意識の共有と協働によるまちづくり 39

策定資料

- 策定体制（まちづくり委員会 委員名簿） 42
- 策定経過 43
- 小学生アンケートの結果 45
- 資源・課題マップ 53

2. 小山市地域のあそび

小山市は、山に囲まれた盆地で、自然豊かな環境に恵まれています。

また、小山市には、多くの文化施設や公園があります。

ここでは、小山市のあそび場について紹介します。

小山市には、多くの公園やスポーツ施設があります。

ここでは、小山市のあそび場について紹介します。

小山市には、多くの公園やスポーツ施設があります。

ここでは、小山市のあそび場について紹介します。

小山市には、多くの公園やスポーツ施設があります。

ここでは、小山市のあそび場について紹介します。

小山市には、多くの公園やスポーツ施設があります。

ここでは、小山市のあそび場について紹介します。

1 はじめに



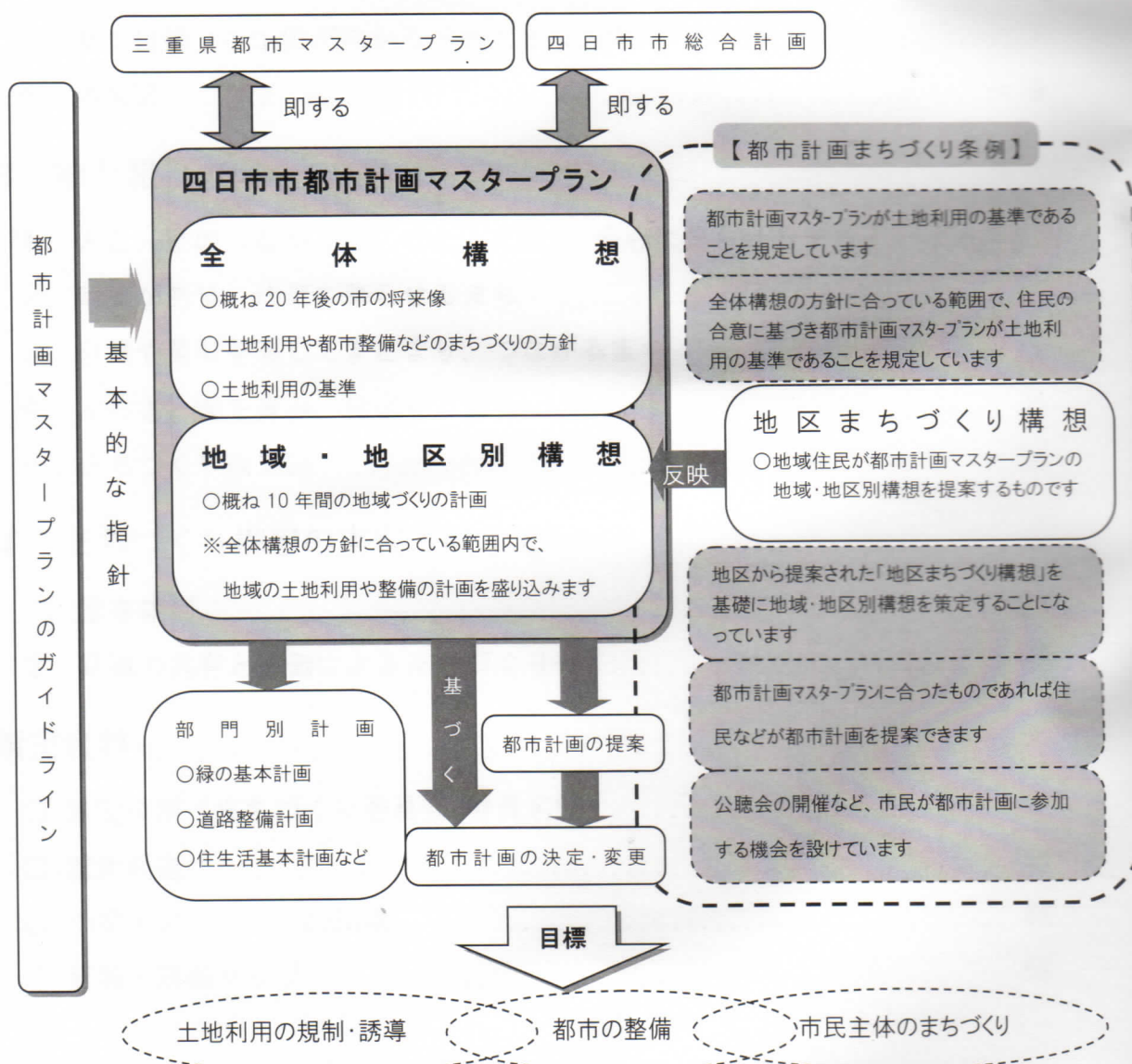
1. まちづくり構想とは

「小山田地区まちづくり構想」は、私たち地区住民が主体となって、今後 10 年間の小山田地区のまちづくりについて、目標や方向性を定めたものであり、地区住民は、このまちづくり構想をもとに、地区のまちづくりを推進していくことになります。

まちづくり構想を市に提案すると、市では、まちづくり構想をもとに地域の土地利用や整備の計画など、取り組むべき施策などを整理し、概ね 10 年間の地域づくりの計画となる「小山田地区都市計画マスタープラン（地域・地区別構想）」を策定します。

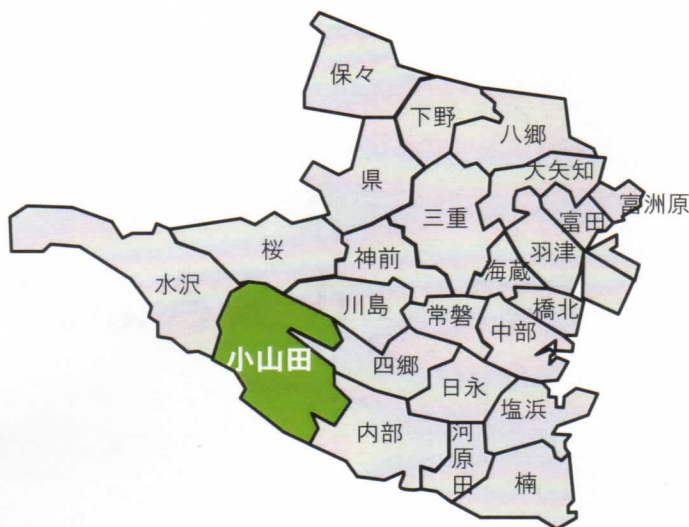
この手続きは「四日市市都市計画まちづくり条例」に位置づけられており、市は、「小山田地区都市計画マスタープラン」に沿って、地区住民と協働でまちづくりに取り組んでいくことになります。

【地区まちづくり構想の位置づけ】



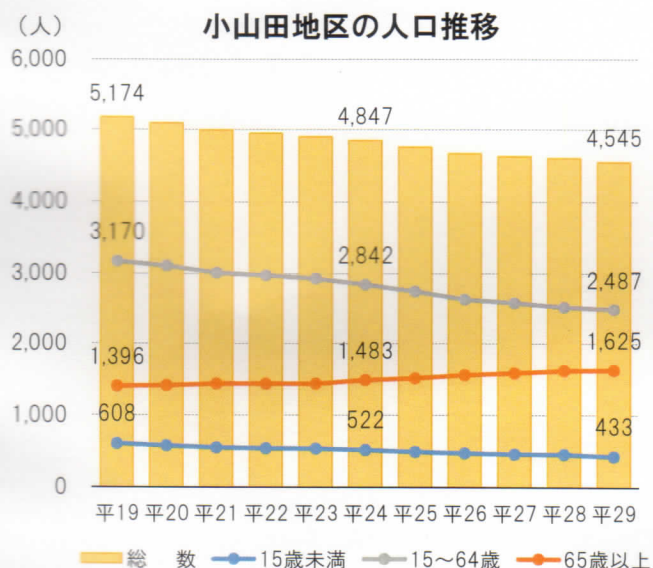
2. 小山田地区のあらまし

小山田地区は、四日市市の西南部に位置し、東西 6.9km、南北 5.6km の広がりを持つ、18.35km² と市内で 2 番目に面積の大きな地区です。北には桜地区と川島地区、西には水沢地区、東には四郷地区と内部地区があり、南側は鈴鹿市に接します。西方に鈴鹿山脈を望み、丘陵地には茶畑が広がる一方、内部川、鎌谷川、足見川、天白川といった川沿いの平野に水田が広がる田園地帯で、丘陵地と平野との境目の段丘崖が森林となる起伏に富んだ地形をなしています。



小山田地区は、点在する旧石器時代や縄文時代の遺跡が物語るように、古くから人びとの営みがみられ、古代の文献にも地名が確認できる歴史ある地区です。中世には「小山田御厨（みくりや）」として伊勢神宮の神領であったとされ、戦国時代には、室町幕府の十二代将軍足利義晴の重臣であった矢田監物（やだけんもつ）をはじめ有力な郷士（ごうし）が各地を支配していたと

伝えられます。その後、明治 22 年の町村制の実施に伴い、当時の山田村、小山村、堂ヶ山村が合併して小山田村が誕生しました。



小山田地区の平成 29 年 10 月現在の総人口は 4,545 人、世帯数は 1,916 世帯で、年々人口減少と高齢化が進んでおり、総人口はこの 10 年間（平成 19 年→29 年）で 600 人以上減少する一方、65 歳以上の人口は 1,396 人から 1,625 人へと増加し、高齢化率（65 歳以上人口比率）も 35.8% に上っています。逆に、14 歳以下の人口は 608 人から 433 人へと減少しています。

小山田地区の大部分は市街化調整区域であり、かつ農業振興地域とされ、優良農地と農業集落が地区の基盤となり発展してきました。一方、一部の市街化区域は「南部工業団地」と呼ばれ、工業専用地域となっています。地区内を横断する通称ミルクロード、フラワーロードの交差するエリアには病院と特別養護老人ホームなどの福祉施設が集積し、小山田地区の大きな特徴となっています。また、地区北部には市の南部埋立処分場と県環境保全事業団の新小山最終処分場があります。

2 基本的な考え方

1. 基本理念

大切にしたいこと

世代・時代・地域を越えて
「つながろう・つなげよう小山田」



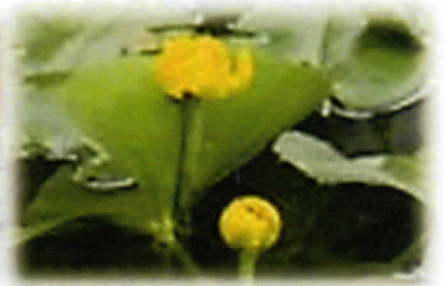
「小山田つながるマップ」

鈴鹿山脈の山裾から緩やかな傾斜でつながる丘陵地には茶畑が広がり、川が開いた谷筋の田んぼでは無数の稲穂が風に揺れます。丘陵地の縁にあたる斜面には木々が茂り、地下水路であるマンボからは絶え間なく水が流れています。四季を通じて桜、ヒメコウホネ、れんげ草、彼岸花などの花々が咲き、ウグイスやキジの声が聞こえます。夏にはホタルが飛び交い、冬には雪をいただいた鈴鹿山脈を借景として、どこにいても絵になる、そんな自然豊かな農村地帯が私たちの住む小山田地区です。この地には、太古の昔から人びとの暮らしがあり、先人のたゆまぬ努力の上にこのような美しい地区の姿があります。この先もずっと、時代を越えて小山田地区の美しさを未来につなげたいという思いがあります。

昭和30年代になると四日市市に合併し、広い地区内に9つの町（内山、小山、鹿間、堂ヶ山、西山、美里、山田、六名、和無田）を持つ小山田地区が誕生しました。しかし、小山田地区は面積が広いうえ、起伏に富んだ地形などのため集落も点在しており、これまで各町が独自にまちづくりを進めてきました。今後、徐々に人口が少なくなる社会だからこそ、9町の枠を越えて小山田地区として1つにつながることで、今まで以上に地区を元気にしていきたいという思いがあります。

現代社会は、核家族化が進み、地域とのかかわりが少なく、人と人とのつながりが希薄になっています。少子化、高齢化が今まで以上に進むなかでは、その傾向はより一層強まるおそれがあります。一方、小山田地区は人口が少ない反面、人と人の関係が強い地域であり、大人も子どももみんな地域のことが大好きです。これからの時代においては、そうした人のつながりやふるさとへの愛着が強みとなります。9町の横のつながりのみならず、親から子、そして孫へとつながる世代間の縦のつながりを大切にしていきたいという思いがあります。

この「小山田地区まちづくり構想」をきっかけに、こうした「つながり」を大切にし、小山田地区に笑顔の輪を広げていくため、基本理念を定めます。



2. 将来像

小山田の目指す姿

子孫に残す 元気で住み続けられるまち 小山田

基本理念の「つながろう、つなげよう」という思いを大切にしながら、子や孫の代まで、将来にわたって笑顔を絶やさず、元気で住み続けられる小山田地区であることを願い、将来像を掲げます。

3. 基本目標

小山田が向かうべき大きな方向

将来像を実現するため、大きな4つの目標を掲げます。これらの目標に向けて、小山田地区にかかわるすべての人や組織が一丸となって取り組みを進めていきます。

○人と人とのつながりで、だれもが安全・安心に暮らせるまち

世代を越えて人と人がつながり、みんなで見守り、助け合うことによって、住民が安全に安心して暮らせる小山田地区を目指します。

○活気があり、快適に暮らせるまち

地区内とともに地区外との移動がしやすく、またみんなが集える生活拠点があることで、住民が便利で快適に暮らせる、活気のある小山田地区を目指します。

○自然や農業を通じてまとまり、つながるまち

地区の特徴である豊かな自然や農業をみんなで守り、将来に引き継いでいくことを通じて、地区のまとまりやつながりを生み出せる小山田地区を目指します。

○ふるさと愛を育み、発信するまち

地区の特徴を知り、郷土愛を育みながら、住民どうしが交流し、地区の文化を守ること、素晴らしさを発信できる小山田地区を目指します。

4. 体系図

基本理念 [大切にしたいこと]	将来像 [小山田の目指す姿]	基本目標 (小山田が向かうべき大きな方向)	(小山田が)
世代・時代・地域を越えて「つながろう・つなげよう小山田」	子孫に残す 元気で住み続けられるまち 小山田	1. 人と人とのつながりで、 だれもが安全・安心に暮らせるまち	(1) 高齢者が憩い、助け合え (2) 子どもが見守られ、安心 (3) 災害に強く、犯罪や事故
		2. 活気があり、快適に暮らせるまち	(1) 地区内外が移動しやすい (2) 若者などが気軽に住める (3) 地区内に拠点ができ、集
		3. 自然や農業を通じてまとまり、 つながるまち	(1) 自然と美しい景観を守る (2) 地区全体で取り組む農業 (3) 地区内外の人が新鮮な農
		4. ふるさと愛を育み、発信するまち	(1) 地域の文化、伝統行事が (2) 住民どうしが仲良く交流 (3) 小山田地区の良いところ

基本方向 (小山田が取り組むべき方向)	取組方向 (具体的な取組の方向)
助け合えるまちづくり	①高齢者の居場所づくり ②助け合い活動、困りごと支援 ③医療・福祉施設との連携強化
れ、安心して子育てできるまちづくり	①認定こども園の誘致、学童の充実 ②地域ぐるみで教育、見守り ③子育て世代の交流機会づくり
罪や事故に遭わないまちづくり	①自然災害予防の対策 ②犯罪防止のパトロール、住民の安全対策 ③通学路、狭あい道路等の整備
しやすいまちづくり	①南北方向への道路機能の強化 ②高速バス等の新たな交通手段の検討 ③その他の交通手段の活用
に住める（戻ってこられる）まちづくり	①若年世帯の居住促進環境の創出 ②空き家、空き農地の活用による居住環境の整備 ③若者なども楽しめる場・機会づくり
でき、集えるまちづくり	①各種施設の集約化 ②公共施設、商工業施設の誘致 ③スポーツ施設や公園等の設置促進
景観を守るまちづくり	①自然や景観の保護、活用 ②自然を活用したイベント等の実施 ③荒れ地の整備、不法投棄対策
組む農業のまちづくり	①農業を生かした組織づくり ②定年後に農業ができるしくみづくり ③農業体験、農業イベントの実施
新鮮な農産物を手に入れられるまちづくり	①産直（朝市）の場づくり ②産直のための組織づくり ③特産品づくり
伝統行事が引き継がれるまちづくり	①地区全体での祭り、行事の実施 ②後継者の育成
中良く交流するまちづくり	①地区全体での文化祭、運動会の開催 ②外国人住民との交流
良いところを知り、発信するまちづくり	①地区の歴史、史跡などのマップづくり ②新たなシンボルづくり

3 取り組み方向

まちづくりの取り組みは、小山田地区まちづくり構想策定委員会を中心に検討した地域課題の解決のためのアイデアであり、その具体化にあたっては、今後結成される、まちづくり推進組織等によって方策を検討・実施することになります。

1. 人と人とのつながりで、だれもが安全・安心に暮らせるまち

(1) 高齢者が憩い、助け合えるまちづくり

① 高齢者の居場所づくり

《現状と課題》

- 小山田地区内の各町では、山田町の「ひだまりカフェサロン」、鹿間町の「元気になる会」、和無田町の「ふれあい」、西山町の「はればれクラブ」など、地域住民の集いの場がつくられています。こうした集いの場は、高齢者が気軽に集まり、交流の場となるとともに、健康づくり、生きがいづくりや閉じこもり防止などのさまざまな効果があります。小山田地区では交通の問題もあることから、できる限り、高齢者が自発的に歩いて行ける範囲に、気軽に安心して集える場、サロンがあることが望まれます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで取り組むこと	高齢者だけでなく、子どもやその保護者なども集えるふれあいの場を各町につくります。 あわせて、「いきいき百歳体操」など、地域住民が集まるツールを検討します。	短期

② 助け合い活動、困りごとと支援

《現状と課題》

- 小山田地区でも、高齢者のひとり暮らしが増えてきており、日常的な見守りとともに、ごみ出しや買い物などの生活支援を必要とする人も多くなっています。また、災害などの発生時にも、避難などを手助けすることが必要になります。こうした状況に対し、隣近所や各町内での世代を越えた助け合いが求められますが、どのような体制でどのように取り組んでいくべきかを検討することが必要です。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域と企業や団体が協働して取り組むこと	介護保険の対象にならないものの、日常生活に困っている人に対する相談の場を設けます。 相談は青山里会で受け付けてもらい、ごみ出しや買い物などの支援はボランティアによる地域の応援部隊が担います。	短期

③ 医療・福祉施設との連携強化

《現状と課題》

- 小山田地区の大きな特徴として、地区内に小山田記念温泉病院といった医療機関や、青山里会のさまざまな福祉施設が立地していることがあります。これらの病院・施設においては、施設の地域開放による健康・介護予防教室（「小山田学校」、「健康まもり隊」など）やイベントの共同実施など、地域とのさまざまな連携が図られています。今後、小山田地区もより一層の高齢化が進むことから、こうした医療・福祉機関との連携をますます強化していくことが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域と企業や団体が協働して取り組むこと	医療・介護が必要にならず、健康寿命が延ばせるよう、小山田在宅介護支援センター、四日市市南地域包括支援センターといった医療・福祉施設との連携を発展させます。	短期



「ひだまりカフェサロン」



ひとり暮らしの高齢者の方への弁当の配付



「小山田学校」での健康・介護予防教室



小山田記念温泉病院

②地域ぐるみで教育、見守り

《現状と課題》

- 小山田地区でも、年々子どもの数が減少していますが、子どもは未来への希望であり、地域の宝であるとの考えから、小山田地区では「あいさつ運動」などを通して地域の大人が子どもたちを見守り、育成していこうとする土壌があります。また、小山田小学校においても、地域のことを学んだり、住民との交流機会を設けたりするなど、地域とのかかわりを大切にしています。今後も、地域、学校、家庭が一体となり、子どもたちを見守り、育成していくことが求められます。あわせて、集会所などの身近な場所で、子どもたちが自由に使える学習の場があり、地域の大人が教えられるような環境づくりが望まれます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで取り組むこと	大人が率先してあいさつを行い、子どもたちの見守りを行います。また、防犯協議会を立ち上げます。	短期
	「見守り隊」などのシールを車に貼り、「小山田地区全体で見守っている」という雰囲気をつくります。	短期
行政や関係機関に働きかけること	子どもたちの帰宅時刻に合わせた放送を行えるよう、放送設備の整備を働きかけます。	短期

③子育て世代の交流機会づくり

《現状と課題》

- 地区の中には子育て世代を対象とした交流の場が少ないという声が聞かれます。子育ての楽しさや悩みなどを共有して、安心して子育てできる小山田地区になるよう、子育て世代の交流の場、活動の場を創出していくことが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで取り組むこと	子育て世代が気軽に集まれる場づくりを行います。	中期
	子どもが集まり、あわせて大人も集まれるよう、マルシェ ² などの子育て世代向けのイベントを創出します。	中期

² マルシェとは…フランス語で「市場」の意味です。近年、農産物や手作りのものを持ち寄るイベントとして開催される市場を指すことが多く、「〇〇マルシェ」のように用いられます。

②地域ぐるみで教育、見守り

《現状と課題》

- 小山田地区でも、年々子どもの数が減少していますが、子どもは未来への希望であり、地域の宝であるとの考えから、小山田地区では「あいさつ運動」などを通して地域の大人が子どもたちを見守り、育成していこうとする土壌があります。また、小山田小学校においても、地域のことを学んだり、住民との交流機会を設けたりするなど、地域とのかかわりを大切にしています。今後も、地域、学校、家庭が一体となり、子どもたちを見守り、育成していくことが求められます。あわせて、集会所などの身近な場所で、子どもたちが自由に使える学習の場があり、地域の大人が教えられるような環境づくりが望まれます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで 取り組むこと	大人が率先してあいさつを行い、子どもたちの見守りを行います。また、防犯協議会を立ち上げます。	短期
	「見守り隊」などのシールを車に貼り、「小山田地区全体で見守っている」という雰囲気をつくります。	短期
行政や関係機 関に働きかけ ること	子どもたちの帰宅時刻に合わせた放送を行えるよう、放送設備の整備を働きかけます。	短期

③子育て世代の交流機会づくり

《現状と課題》

- 地区の中には子育て世代を対象とした交流の場が少ないという声が聞かれます。子育ての楽しさや悩みなどを共有して、安心して子育てできる小山田地区になるよう、子育て世代の交流の場、活動の場を創出していくことが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで 取り組むこと	子育て世代が気軽に集まれる場づくりを行います。	中期
	子どもが集まり、あわせて大人も集まれるよう、マルシェ ² などの子育て世代向けのイベントを創出します。	中期

² マルシェとは…フランス語で「市場」の意味です。近年、農産物や手作りのものを持ち寄るイベントとして開催される市場を指すことが多く、「〇〇マルシェ」のように用いられます。

(3) 災害に強く、犯罪や事故に遭わないまちづくり

① 自然災害予防の対策

《現状と課題》

- 小山田地区は内陸に位置するため津波被害の心配はありませんが、起伏に富んだ地形のため、場所によってはがけ崩れの危険性があります。また、地区内を流れる内部川では、過去に何度も水害が発生しており、鹿間町はかつて集団移転したことが知られています。鎌谷川、足見川でも、川幅が狭くなるなど、浸水被害のおそれがあります。こうした危険箇所においては、県による土砂災害のおそれのある区域の指定や河川堤防の改修、河床の浚渫などが進められています。今後も自然災害を未然に防ぐため、対策工事を促すとともに、地震や水害などが発生した際には、要介護高齢者や障がい者といった支援の必要な人を援助するなど、地域で助け合う態勢を整えておく必要があります。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
行政や関係機関に働きかけること	高齢者・障がい者に対して双方向でやりとりができるよう、防災無線をはじめとした連絡手段を検討します。	中期
	自然災害の危険性がある箇所について、小山田地区防災連絡協議会における情報収集などを行い、早急な対策を行政に働きかけます。	短期
地域みんなで取り組むこと	プライバシーの問題に配慮しながら、地域内での連絡システムを充実させます。	短期
	各町内においても、自然災害の危険性について理解されるよう、防災マップなどをつくり、地域内での安全教育を行います。	短期



増水時の鎌谷川



防災訓練

②犯罪防止のパトロール、住民の安全対策

《現状と課題》

- 近年、ひとり暮らしの増加や社会関係の希薄化につけ込み、高齢者を狙った振り込め詐欺などが全国的に多発しています。小山田地区は地域のつながりが強いことからこうした犯罪が起きにくいと思われる反面、防犯活動はそれほど積極的ではないことから、今後は、犯罪を未然に防止するための取り組みを進めることが求められます。一方、市内では子どもの登下校時における不審者情報なども多く、子どもに対する犯罪への不安が高まっています。小山田地区では、各町から学校までの通学距離が長く、危険な箇所も存在することから、子どもたちが安全に通学できるような対策が必要です。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで取り組むこと	「つながろう小山田」のマークが入った車で地区内を巡回し、子どもの見守りパトロールを行います。	短期
地域と企業や団体が協働して取り組むこと	認知症サポーター養成講座を開催するとともに、徘徊高齢者の捜索訓練や各町の防災訓練を行います。	短期
地域と行政が協働して取り組むこと	四日市市の防犯カメラや防犯外灯設置にかかる補助金を積極的に活用し、地域の防犯力を高めます。	短期



通学時の見守りパトロール



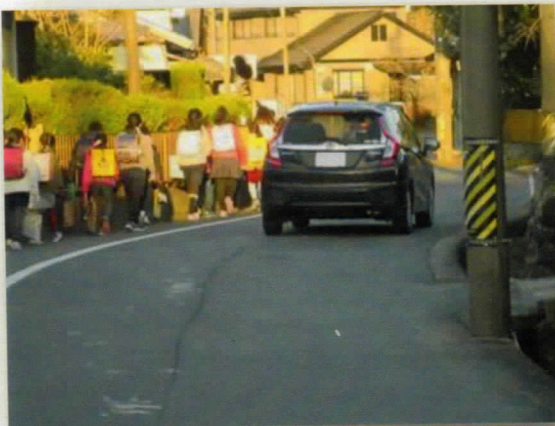
③通学路、狭あい道路等の整備

《現状と課題》

- 地区内をつなぐ道路は通学路となっていることも多いですが、ところどころに狭い箇所が見られ、集落内では歩道が設置できない箇所もあります。その一方で朝夕の通勤時間帯には、いわゆる「抜け道」として集落内を通過する車が多く、子どもたちが危険にさらされています。県道宮妻峡線など主要な道路においても、歩道幅が十分ではなく、道路交通量が多いため小・中学生の通学が危険な箇所が見られます。子どもたちが安全に通学できるよう、狭あいな箇所の整備や交通安全施設の設置など、通学路をはじめとする道路の安全対策を進める必要があります。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで 取り組むこと	地域みんなで見守る体制を整えます。 通学路についても見直しを検討します。 カーブミラーの手入れを行います。	短期
地域と行政が 協働して取り 組むこと	大型トラックの通行規制や速度規制につながるよう、ドライバーへのモラルの啓発を行います。	短期
	安心して歩けるよう、危険な箇所については交通安全対策を検討し、道路管理者に働きかけます。	短期



朝の集団登校



狭あい箇所でのすれ違い

2. 活気があり、快適に暮らせるまち

(1) 地区内外が移動しやすいまちづくり

① 南北方向への道路機能の強化

《現状と課題》

- 小山田地区には、ミルクロード、フラワーロードや県道宮妻峽線などの幹線道路がありますが、これらの幹線道路は地区の中心部を通過せず、集落間をつなぐ南北方向の道路機能が弱いため、地区内の移動がしづらい状況があります。このため、地区内における南北方向の道路機能の強化が望まれます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
行政や関係機関に働きかけること	地区住民の意識を高めながら、地区内における南北方向の移動の円滑化について検討し、行政に働きかけるとともに、地域としての協力体制の構築を図ります。	長期

② 高速バス等の新たな交通手段の検討

《現状と課題》

- 一方、広域的な観点からは、高速道路のインターチェンジへのアクセスの良さと駐車場の確保のしやすさなどを生かし、小山田地区と名古屋とを結ぶ交通手段により、地区から出かけやすくすることが望まれます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域と企業や団体が協働して取り組むこと	現行の高速バス（桜・名古屋間）の小山田地区までの延伸を要望します。	中期

③その他の交通手段の活用

《現状と課題》

- 小山田地区では、山田町内を通る小山田記念温泉病院を起点とするバス路線、西山町、小山町を通る宮妻口及び椿大神社を起点とするバス路線がありますが、いずれも本数が少なく、利用しづらいのが現状です。また、いずれも中心市街地に向かう路線のため、地区内の移動には向かないことも問題です。今後、高齢化が進む中で、マイカーを運転できない人が増えると考えられることから、バス路線やそれに代わる交通手段を確保していくことが必要です。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域と企業や団体、行政が協働して取り組むこと	交通弱者の移動手段確保のために、地区内コミュニティバス等の導入について検討します。 その実現のため、資金、人（企業、NPOなど）については、既存資源（青山里会など）や四日市市自主運行バス事業補助金の活用を検討します。また、ルートについては、山田町を中心とした地区内循環ルートを検討します。	中期

バス路線の現況（平成30年1月1日現在）



(2) 若者などが気軽に住める（戻ってこられる）まちづくり

① 若年世帯の居住促進環境の創出

《現状と課題》

- 小山田地区は南部工業団地を除く全域が市街化調整区域であり、これまで、宅地開発は限られたものとなっていました。生活の場として便利な環境を求める若者などは、地区外に住宅を持つ傾向があり、それが人口の流出につながっていたと言えます。その中で、平成28年4月に「四日市市開発許可等に関する条例」が一部改正され、人口減少がみられる地域の集落を維持するために居住の条件が緩和され、小山田地区もその対象地域となりました。一方、小山田地区は周辺に働く場があり、市内の工業地帯のみならず、鈴鹿市、亀山市、菰野町などにも通勤しやすい位置にあります。上記のような制度を活用して人口の流出を抑制し、Ｕターン・Ｉターンを促していくことが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで取り組むこと	Ｕターン・Ｉターン等による新規居住者を増やすため、四日市市の住み替え支援事業等を活用します。また、若者などが居住しやすい環境を整えるとともに、条件の良さのＰＲに努めます。	短期

② 空き家、空き農地の活用による居住環境の整備

《現状と課題》

- 人口減少にともない、全国的に空き家が増えています。空き家対策を進めるための法律などもでき、市においても空き家バンク制度の運用を行うなど、取り組みは進みつつあります。しかしながら、所有者が手放さなかったり、耐震上の問題があったりと、空き家を活用するためには様々な課題があります。同様に、空き地や遊休農地についても増加傾向にあり、問題となっています。今後は、小山田地区内にも増えつつある空き家、空き地、遊休農地などを有効に活用することによって、居住環境の改善につなげることが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで取り組むこと	市民農園のようなイメージで農地を貸せるようにすることによって、新規居住者の呼び込みを図ります。	短期
	空き家や遊休農地を有効に活用できるよう、情報を集めて提供するなど、地域のサポート体制を検討します。	中期

③若者なども楽しめる場・機会づくり

《現状と課題》

- 小山田地区は、市中心部に比べて自然環境などが豊かである一方、都市的な要素は限られていると言えます。今後は、静かで過ごしやすい環境を生かしながら、快適さや娯楽的要素を充実させることによって、小山田地区に住むことの魅力を高めていくことが求められます。あわせて、若者の意見をまちづくりに取り入れることで、若者が住み続けたいとなる環境づくりを進めることも必要です。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで 取り組むこと	官民にかかわらず、開発等の機会をとらえて、若者にも受け入れられる娯楽的な場づくりを働きかけます。	長期
	若者が意見を出し合うことによって、まちづくりにつなげられる機会をつくれます。	短期

(3) 地区内に拠点ができ、集えるまちづくり

①各種施設の集約化

《現状と課題》

- 小山田地区の拠点となる施設としては、小山田地区市民センター、小山田小学校などの公共施設や、農業支援と金融の機能をもつJA小山田支店、医療・福祉施設として小山田記念温泉病院や青山里会の福祉施設群などがあります。しかし、それぞれの施設は離れており、住民にとって利便性がよい状況ではありません。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
行政や関係機関に働きかけること	各施設をより利用しやすくすることによって、拠点性を高められるよう努めます。	長期
地域と企業や団体が協働して取り組むこと	利便性を高めるために、公共ゾーン、学童ゾーン、商工業ゾーン、医療・福祉ゾーンなどのゾーニングを検討するとともに、各ゾーンに応じた生活拠点としてのあり方を検討します。	中期

②公共施設、商工業施設の誘致

《現状と課題》

- 小山田地区には広域的に利用される公共施設がなく、スーパーなどの大規模小売店舗もありません。一方で、ミルクロードとフラワーロードが交わることから、利便性の高い立地条件を持っています。地区住民の生活の利便性を高めるためには、文化施設や商工業施設が必要ですが、地区内は市街化調整区域であり、さらに農用地区域が多くあり、都市整備は制限されています。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
行政や関係機関に働きかけること	官民にかかわらず、開発等の機会をとらえて、文化施設や商工業施設の立地を働きかけます。 なお、地区内の適地の有効利用等を促します。	中期

③スポーツ施設や公園等の設置促進

《現状と課題》

- 健康意識の高まりからジョギングなどのスポーツを行う人は増えています。小山田地区の自然環境や広々とした空間を生かして、地区内外から人びとが集まるスポーツやレクリエーションの場を提供するためのスポーツ施設や公園などの整備を促していくことが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域と企業や団体が協働して取り組むこと	地域において、河川沿いにサイクリングロードの設定を検討します。	中期
	旧環境保全事業団用地、幸福村公園など、企業・団体が所有する緑地等の敷地を利用した散歩道、ジョギングコース、また子どもから大人までが憩える場などの整備を働きかけます。 整備にあたっては、地域も協働で取り組みます。	短期



内部川



新小山最終処分場内の調整池

3. 自然や農業を通じてまとまり、つながるまち

(1) 自然と美しい景観を守るまちづくり

① 自然や景観の保護、活用

《現状と課題》

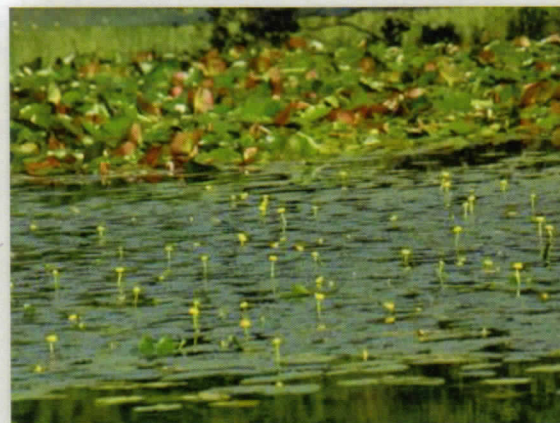
- 小山田地区には自然が豊富にあり、季節を彩る桜、ヒメコウホネなどの花々、ウグイスやキジなどの野鳥、ホタルなどが身近に見られます。また、おやまだ桜や大樟（おおくす）など、シンボリックな木々もあります。丘陵地の脇から湧き出るマンボの水は夏でも冷たく、かつては生活や農業を支えていました。こうした身近にある美しい自然の現状について、より詳細に知ることが大切です。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで 取り組むこと	自然資源の現状把握（洗い出し）を行い、「山田町自然を守る会」をはじめとする今ある自然や景観を守る取り組みの継続や強化を図っていきます。	短期



おやまだ桜(小山田地区市民センター)



ヒメコウホネ(和無田池)

②自然を活用したイベント等の実施

《現状と課題》

- 谷筋には田んぼが、丘陵地には茶畑が広がるとともに、丘陵地の縁には緑の木々が生い茂り、小山田地区の景観を創り出しています。その中で、人の手が入らなくなり荒れ気味であった竹林をボランティアが整備したり、休耕田にひまわりやコスモスを植えたりすることにより、この地区の景観を守り、育てていこうという取り組みが始まっています。今後、景観を保全しつつ、さらに活用を図る方法を考えていくことが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域と企業や団体が協働して取り組むこと	小山田地区の美しい自然を生かしたウォークラリーイベントを開催するなど、地区住民だけでなく広く地域外からの参加を募り、地域の自然の保護の大切さを訴えていきます。	短期

③荒れ地の整備、不法投棄対策

《現状と課題》

- ミルクロード沿いなどでは優良農地の茶畑が広がるところがある反面、荒れ地となっており、荒れ地でもあります。また、条件の良い農地でさえも、担い手の不足などにより耕作放棄が見られます。荒れた土地は景観上の問題もさることながら、不法投棄の温床ともなり得ることから、何らかの対策が求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域と行政が協働して取り組むこと	データを集めるだけでなく、市の補助金や支援策を活用しながら荒れ地対策を進めます。	短期
	将来の荒れ地対策につなげられるよう、子どもたちが農業の重要性への理解を深めるための農業体験や食育に取り組めます。	短期

(2) 地区全体で取り組む農業のまちづくり

① 農業を生かした組織づくり

《現状と課題》

- 小山田地区はこれまで、その農地の特性から、丘陵部では茶が、谷あいの河川沿いでは稲が、それぞれ主に作られ、農業が盛んな地域として発展してきました。優良農地の整備をはじめ、道路や排水などといった集落の環境整備においても、農業とのかかわりにおいて進められてきました。しかし、農業を取り巻く環境は非常に厳しく、輸入農産物との価格差、コストの増大などから農業所得は増えず、その結果、担い手となる農業後継者は不足し、高齢化にともない離農が進み、耕作放棄が増える悪循環となっています。

今後、小山田地区全体として農業を続けていくためには、作って欲しい農産物と作れる農家とをつないだり、農地を持つ人と農地を探している人をつないだりしていくことが必要です。そのためには、農地に関する情報、農家に関する情報、農作物のニーズに関する情報などをひとつに集約し、共有していくことが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域と行政が協働して取り組むこと	小山田地区のまちづくりでは、「どうすれば持続可能な農業ができるか」や「農地をいかに守り、後世に残していくか」をテーマに、小山田地区で農業を考えるための組織をつくり、荒れ地対策など、農業を守る取り組みを進めます。	短期



茶畑(堂ヶ山町)



田園風景(鹿間町)

②定年後に農業ができるしくみづくり

《現状と課題》

- 大規模な専業農家として農業を続けていける農家は一部の認定農業者に限られますが、一方で、定年後に小規模ながら農作業したいというニーズも一定程度あるものと考えられます。こうした小規模な農業によって、農地の維持や高齢者の生きがいづくり、都市部の住民との交流など、地域の活性化につなげられることから、定年後などの農作業のニーズを持つ人びとが、組織的に農業に取り組めるしくみをつくる必要があります。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで取り組むこと	定年後の人が集まり、情報を共有し、共同作業が進められるよう、組織を作ります。	中期
行政や関係機関に働きかけること	補助金の要請、新たな制度や施策の情報提供など、小規模農家でも耕作できる環境づくりを働きかけます。	短期

③農業体験、農業イベントの実施

《現状と課題》

- 郷土愛を育み、それを未来へとつなげていく上で大切なことは、地域のことをよく知り、体験を共有することです。小山田地区では、農業を通じて発展してきた歴史があり、その上に今の地域があるということを子どもたちに伝えていく必要があります。現在、小山田小学校では3年生児童が地域を巡り、農作物や地域の施設などを見学するほか、地域住民の協力によって芋煮会が開催されています。今後は、子どもたちがより身近に感じられるよう学校行事だけでなく、地域の行事として田植えや茶摘みなどの農作業体験を行い、農業や農業文化を次代に引き継いでいく取り組みが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域と企業や団体が協働して取り組むこと	次代を担う子どもたちが、田植え体験や野菜の収穫など、農業体験ができるイベントの実施を検討します。	短期
地域みんなで取り組むこと	芋煮会について、地域行事として継続して実施していきます。	短期

(3) 地区内外の人が新鮮な農産物を手に入れられるまちづくり

①産直（朝市）の場づくり

《現状と課題》

- 都市住民を中心に安全安心な農産物を手に入れたいというニーズがあり、産地直送・直売による農産物売り場はにぎわいを見せています。小山田地区においても、農業を中心として発展してきた地域として、地域内外の人が野菜などの新鮮な農産物を手に入れられるよう、また、小山田地区の農業者が自分の農産物を「顔の見える」形で売ることができるよう、朝市などといった産直の場をつくることが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで取り組むこと	文化祭などの地区行事や青山里会の行事などに合わせて、農産物の販売を試行します。	短期

②産直のための組織づくり

《現状と課題》

- 現在のところ、小山田地区では、産地直送・直売を行っている農業者はごく一部に限られると思われます。今後、産直を効果的に進めるためには、売るための場が整うと同時に、地域の中で農産物を揃え、朝市などを定期的で開催していくための体制を整える必要があります。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで取り組むこと	9町から農業者の代表を出して組織をつくれます。	短期

③特産品づくり

《現状と課題》

- 小山田地区では茶と米が中心に栽培されてきましたが、いずれも価格が低迷し、先行きが厳しい状況です。今後、産直などの場で付加価値の高い商品を販売していくためには、農産物の品質を高めたり、ブランドイメージを加えたりするほかに、新たな特産品を導入していくことも必要です。さらには、茶を和紅茶として販売することや「6次産業化」を視野に入れることも必要です。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域と企業や 団体、行政が 協働して取り 組むこと	専業農家を中心に、地域に合った農産物を研究・検討します。	中期



「ふれあい」の産直コーナー



4. ふるさと愛を育み、発信するまち

(1) 地域の文化、伝統行事が引き継がれるまちづくり

①地区全体での祭り、行事の実施

《現状と課題》

- 四日市市でも、鯨船行事がユネスコの無形文化遺産に登録されたように、古くから伝わる伝統行事が改めて見直されています。小山田地区の各町では、それぞれの町にそれぞれの祭りや行事があり、六名町の獅子舞、小山町と山田町の巫女舞、小山町と鹿間町の盆踊り、和無田町の「ふれあい行事」、加富神社の天王祭などが受け継がれています。各町の行事は地元の保存会や愛好会によって継承されていますが、人口減少や若者の流出などによって、年々、行事の実施が難しくなりつつあります。小山田地区の大切な文化として、後世に引き継いでいくためには、その行事の成り立ちなどを地区住民が理解できるような取り組みが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで取り組むこと	各町の伝統行事を大切に守り続けていくとともに、小山田地区として祭りや行事を共有していきます。	短期

②後継者の育成

《現状と課題》

- 祭りや行事においても、伝えるのは「人」であり、「技」の伝承が不可欠です。これまで、こうした「技」の伝承は、口伝であったり、見よう見まねであったりしながら、長い年月を伝わってきたものですが、後継者が限られる中では、できる限り可視化した形で伝えていく必要があります。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域と企業や団体が協働して取り組むこと	企業や団体からの資金的な援助を得ながら、加富神社の祭りや六名町の獅子舞などを継承し、世代間の交流の場を通した後継者の育成に努めます。	短期
	祭りや行事を継承していくため、映像化などに取り組めます。	短期



獅子舞(六名町)



加富神社・天王祭(山田町)



どんど焼き(小山町)



地区文化祭



地区運動会

(2) 住民どうしが仲良く交流するまちづくり

①地区全体での文化祭、運動会の開催

《現状と課題》

- 郷土愛を育む上で重要な要素となるのは、いかに地域にかかわり、地域の中で交流するかということです。小山田地区では、毎年、地区文化祭、地区運動会が続けられ、地区住民の交流機会となっています。また、青山里会が主催する温泉まつりなども、地区住民の楽しみとなっています。小学生へのアンケートでも、こうした交流行事の多さが「好きなところ」として取り上げられており、続けてほしいという願いが寄せられています。地域のつながりを保ち、未来につなげていくために、こうした行事を継続・発展させることが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで 取り組むこと	地区運動会は住民が楽しめる場として、今後も継続して開催していきます。	短期
	地区文化祭のさらなる発展のために、内容（バザー、展示、サークル発表など）や会場の見直しなど、地区文化祭のあり方について検討します。	短期
	文化祭などの場において、農産物の直売、各町の紹介、郷土料理の紹介など、発信と交流の場にしていきます。	短期

②外国人住民との交流

《現状と課題》

- 市内には、最も多かった平成 20 年度よりは減少したものの、現在も 8,000 人近い外国人が住んでいます。小山田地区でも、地区内の南部工業団地で多くの外国人が働いており、地区内に居住している人もいます。外国人住民はその国の文化や宗教などから生活習慣なども異なりますが、多文化共生の観点から、同じ小山田地区に住む住民として、交流を深めていくことが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで 取り組むこと	地区内に住む外国人住民に対して、交流のきっかけづくりを検討します。	短期

(3) 小山田地区の良いところを知り、発信するまちづくり

①地区の歴史、史跡などのマップづくり

《現状と課題》

- 地区の良いところを知り、発信するためには、可視化することが有効です。小山田地区でも、これまで名所マップや歴史年表などとしてまとめたり、ホームページ上で公開したりしてきましたが、このまちづくり構想の検討材料をもとにした「つながるマップ」が、平成28年12月に完成しました。今後も、こうしたマップを最大限活用し、地域住民の地域への理解を深めたり、来訪者への案内を充実させたりすることに加え、さらに歴史や史跡などの伝承、郷土料理などの生活文化といった地域資源をまとめ、後世へと伝えていくことが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域と行政が協働して取り組むこと	完成したマップ・看板について、市民センターの前だけではなく、主な資源のある現地に立て、案内表示や説明文を加えます。	短期
地域みんなで取り組むこと	地区全体の歴史や方言、郷土料理などを調査・研究するグループを再結成し、各町でまとめた「百年史」などの資料を活用します。	短期

②新たなシンボルづくり

《現状と課題》

- 郷土に対する愛着を持ち、他地域に向けて発信していく上で有効なものが、地区を象徴するような「シンボル」です。四日市市であれば「こにゅうどうくん」が公式キャラクターとなっていますが、この他にもシンボルマーク、キャッチフレーズ、歌などが考えられます。現在、小山田地区にはシンボルとなるものの候補として、おやまだ桜、ヒメコウホネ、堂ヶ山の大樟（おおくす）、獅子頭などがありますが、こうしたものを地区住民で考え、共有していくことで、地区住民のつながりの象徴としていくことが求められます。

《取組方向》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
地域みんなで取り組むこと	地区全体の住民のつながりを意識できるよう、地区のシンボルを考える会を立ち上げます。	短期

5. まちづくり構想図

凡例

-  地区市民センター
小学校
-  9町の「つながり」のイメージ
(南北方向の道路機能の強化)
移動手段の確保
-  通学路・狭あい道路の整備
-  高速バスの延伸要望
-  河川堤防の改修・
河床の浚渫の働きかけ
-  憩える場の
整備働きかけ
-  農地（水田）の保全
-  農地（茶畑）の保全



施設の凡例

- ① 小山田地区市民センター
- ② 小山田小学校
- ③ 西陵中学校
- ④ 学童保育「ひまわり」
- ⑤ 小山田記念温泉病院
- ⑥ 小山田在宅介護支援センター等
- ⑦ JAみえきた 小山田支店
- ⑧ 南部埋立処分場
- ⑨ 新小山最終処分場

保全事業団用地



4 まちづくり構想の実現に向けて

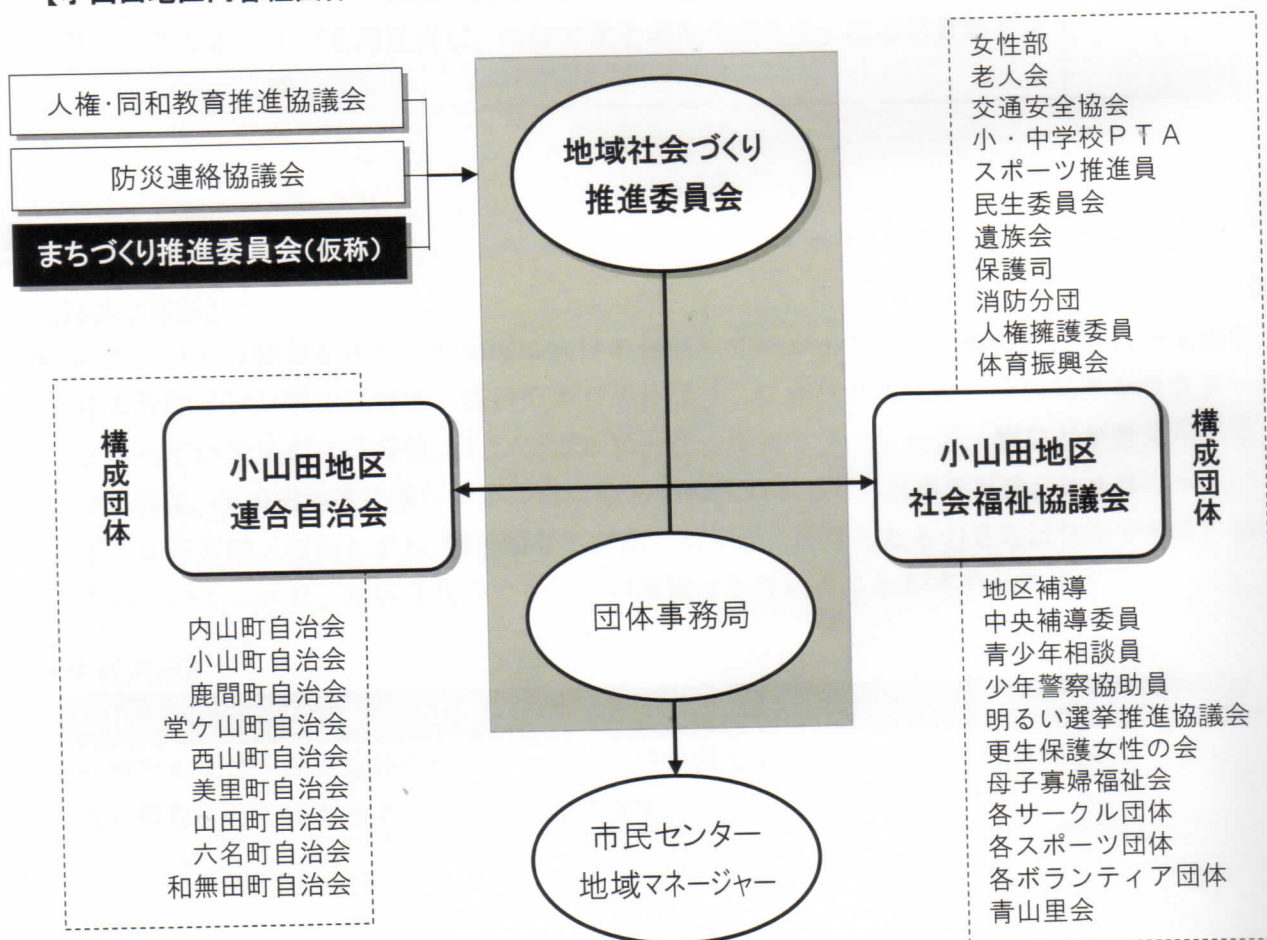
1. 推進体制

この「小山田地区まちづくり構想」は、今後の小山田地区のまちづくりにおける課題解決のためのアイデアであり、構想を具体化していくうえでは、構想の策定の中心を担った「小山田地区まちづくり委員会（まちづくり構想策定委員会）」をはじめ、地区で活動しているさまざまな団体や企業、そしてより多くの住民がまちづくりに意欲的に参画し、行政との協力関係を継続しながら、適切に役割を分担して協働していくことが不可欠です。

今後も継続的に話し合いの場を設け、課題を共有し、意見交換等を行っていくことが大切であることから、「まちづくり委員会」を母体としながら、今後は「**小山田地区まちづくり推進委員会（仮称）**」として組織体制を再編強化し、地区のさまざまな関係者の意見や活動を調整し、取り組みを推進します。

さらに、体制づくりにあたっては、この構想に掲げた取組方向の中から試行的・先行的に具体化する事業を選択し、既成概念にとらわれず、関係する団体・企業などとも連携しながら「部会」や「事業プロジェクトチーム」を設置するなど、柔軟かつ機動的に取り組める体制づくりをめざします。

【小山田地区内各種団体・組織の概念図】

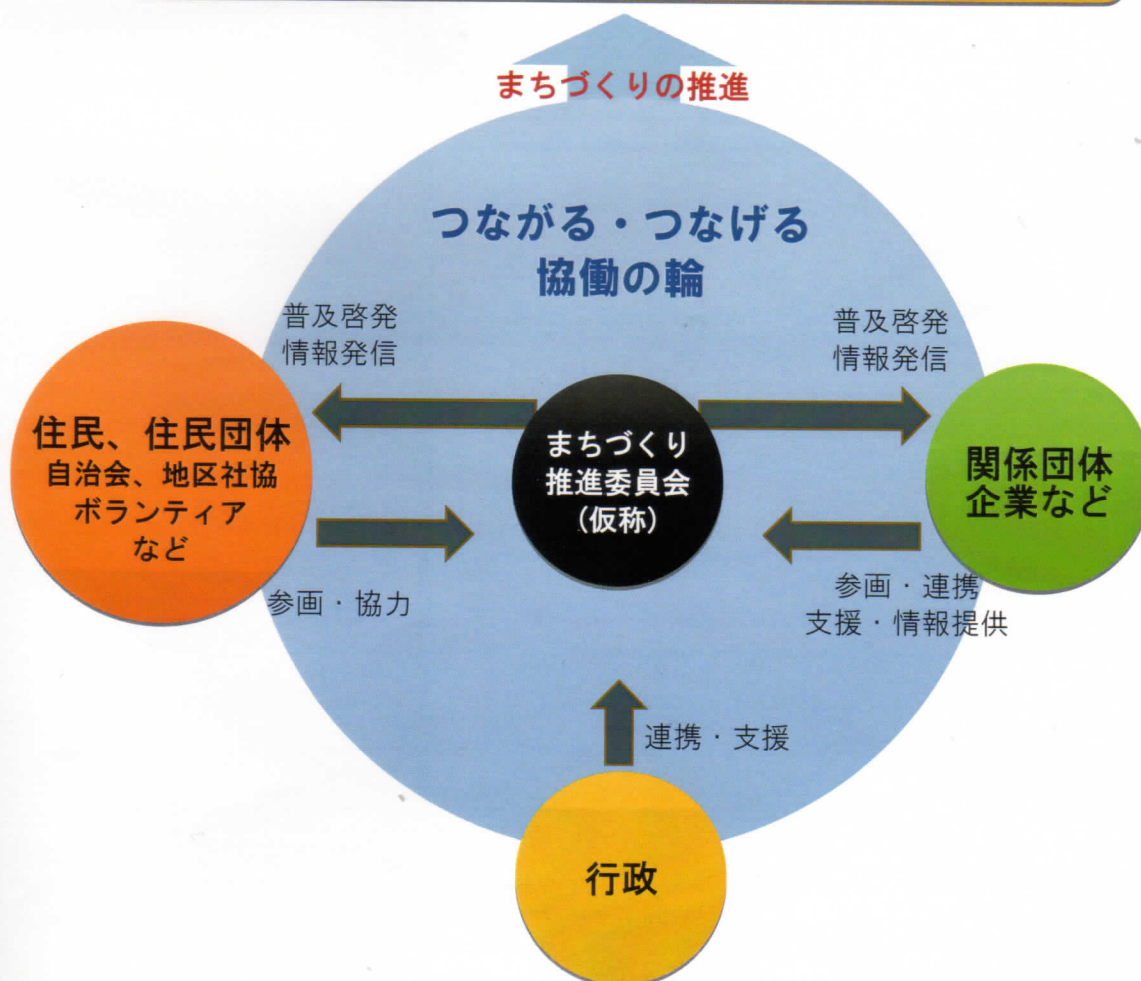


2. 意識の共有と協働によるまちづくり

この構想の推進にあたり、地区住民等が問題意識を共有し、必要に応じて合意形成がなされなければ、取り組みの多くは実現することができません。加えて、地区住民や関係団体・企業等が自ら主体的に活動していくことをはじめ、住民等と行政とが協力しながら良好なまちづくりを進めるなどのさまざまな方法を適切に組み合わせながら進めていくことになり、それぞれの主体が「主人公」としての意識を持ち、自らの役割を認識して、協働のもとで取り組むことが重要です。

このため、「まちづくり推進委員会（仮称）」が主体となって、この構想の普及・啓発及び進捗状況についての情報発信に努めるとともに、地区住民や関係機関の意見交換の場となる勉強会や説明会等を開催し、まちづくりに対する意識を高め、あわせてまちづくりを担う人材の育成を図ります。そして、住民どうしが集まり、話し合いを進める中から個々の課題に対する取組の機運を高め、関連する団体や企業などを巻き込みながら具体的な活動や事業へとつなげるなど、意識共有と協働のもとで「協働の輪」を広げ、まちづくりを進めていきます。

『子孫に残す 元気で住み続けられるまち 小山田』の実現



策定資料

策定体制（まちづくり委員会 委員名簿）

役職・所属グループ	氏 名	町 名	備 考
会 長	矢田 義秀	山田町	
副 会 長	井上 進	和無田町	
副 会 長	黒田 朱美	美里町	
書 記	伊藤 卓	山田町	
安心・安全グループ	安藤 勤	鹿間町	
	磯部 力	鹿間町	～平成 28 年度
	坂崎 秀春	鹿間町	平成 29 年度～
	須藤めぐみ	山田町	
	谷 知美	青山里会	
	宮崎 節夫	山田町	平成 28 年度～
	矢田 栄子	山田町	
	矢田 純一	西山町	
	矢田 宏子	山田町	
	矢田 正喜	山田町	
	山家多喜男	鹿間町	
交通手段・便利・快適グループ	伊藤 政男	山田町	平成 28 年度～
	大谷いずみ	小山町	平成 28 年度～
	粥川 明子	山田町	
	里中 俊雄	小山町	
	辻 高宏	山田町	
	土井 孝	山田町	
	古市 義勝	堂ヶ山町	
	矢田 勝磨	内山町	
	米川 嘉樹	堂ヶ山町	
農業・活気グループ	井上 正徳	和無田町	
	河合 和彦	美里町	
	岸本 久義	鹿間町	
	委文 治美	和無田町	
	竹内 源幸	山田町	
	辻 俊治	和無田町	
	濱口 淳一	六名町	
	古市ひとみ	堂ヶ山町	
グループ分け以前に 所属していた委員	伊藤佐知子	山田町	～平成 27 年度
	北尾 喜子	小山町	～平成 27 年度
	中条 實好	小山町	～平成 27 年度
	中村 一希	六名町	～平成 27 年度
	林 昭則	六名町	～平成 27 年度
	原田 重樹	青山里会	～平成 27 年度
	矢田 寛子	内山町	～平成 27 年度
	市川 正徳	鹿間町	平成 26 年度
	矢田 定信	西山町	平成 26 年度
	吉住 岳人	青山里会	平成 26 年度

※委員名は各グループごとに五十音順

策定経過

回	役員会	委員会	主な内容	流れ
第1回	H27. 1. 13	H27. 1. 28	○構想策定までの大まかな流れと当面の進め方の確認 ○小山田地区の「良いところ、悪いところ」の検討	現状把握と課題の整理
第2回	H27. 2. 9	H27. 2. 25	○小山田地区の「守っていききたいもの」「育てていききたいもの」「活かしていききたいもの」「変えていききたいもの」の検討	
第3回	H27. 3. 2	H27. 3. 25	○『資源マップ』『課題マップ』の作成ー自然・農業分野 ○「守っていききたい」「生かしていききたい」「変えていききたい」ものについての取り組みの検討ー自然・農業分野	
H27. 3			■広報「おやまだ」にてまちづくり構想の周知	
第4回	H27. 3. 30	H27. 4. 15	○『資源マップ』『課題マップ』の作成ー文化・人分野 ○「守っていききたい」「生かしていききたい」「変えていききたい」ものについての取り組みの検討ー文化・人分野	
第5回	H27. 5. 11	H27. 5. 27	○『資源マップ』『課題マップ』の作成ー施設・土地利用・交通分野 ○「守っていききたい」「生かしていききたい」「変えていききたい」ものについての取り組みの検討ー施設・土地利用・交通分野	将来イメージの検討 検討テーマの設定
第6回	H27. 6. 15	H27. 6. 24	○小山田地区の将来に向けた「夢や想い」の話し合い ○キャッチフレーズ案のまとめ	
H27. 7			■小学生アンケートの実施	
第7回	H27. 7. 13	H27. 7. 22	○小山田地区の将来イメージの検討	
第8回	H27. 8. 17	H27. 8. 26	○小山田地区の将来イメージの検討 ○検討テーマの設定	
第9回	H27. 9. 14	H27. 9. 30	○検討テーマの確定 ○グループ分けと話し合う内容の検討	
第10回	H27. 10. 19	H27. 10. 28	○知りたいこと、調べたいことについての検討 ○「まち歩き」で見たい場所についての検討	
H27. 10			■文化祭にてまちづくり構想の紹介展示	
第11回	H27. 11. 16	H27. 11. 25	○討議内容の検討 ○話し合うための情報（知りたいこと、調べたいこと、見たい場所など）の検討	
第12回	H27. 12. 21	H28. 1. 20	○検討課題の検討 ○検討課題の重み付けの検討	
第13回	H28. 2. 1	H28. 2. 24	○検討状況の全体共有 ○他グループへの意見出しと意見内容の検討	取り組み方向の検討
H28. 3			■広報「おやまだ」にてまちづくり構想の進捗状況を報告	
第14回	H28. 3. 7	H28. 3. 24	○検討課題ごとの、「実現したいまちのイメージ（目標）」「現状と課題（及び調べたいこと、見たい場所）」「取組方向・取組内容」「役割分担」の検討	
第15回	H28. 4. 12	H28. 4. 25		
第16回	H28. 5. 9	H28. 5. 25		
第17回	H28. 6. 6	H28. 6. 22	○検討課題ごとの、「実現したいまちのイメージ（目標）」「現状と課題（及び調べたいこと、見たい場所）」「取組方向・取組内容」「役割分担」の全体共有	
第18回	H28. 7. 4	H28. 8. 2	○小山田地区の「まち歩き」	
第19回	H28. 8. 9	H28. 8. 24	○検討課題に関する「勉強会」	

回	役員会	委員会	主な内容	流れ
第20回	H28. 9. 12	H28. 9. 28	○「まちづくり構想骨子案」(構想の構成)についての検討	骨子案の作成
第21回	H28. 10. 11	H28. 10. 27	○「まちづくり構想骨子案」(理念、目標等)についての検討	
第22回	H28. 11. 7	H28. 11. 18	○「まちづくり構想骨子案」の確定	
	H28. 11. 28		○「骨子案」の各戸配布と意見募集についての確認	
	H28. 12~H29. 1		■骨子案の各戸配布と意見募集	アイデア検討 素案の作成
第23回	H28. 12. 12	H28. 12. 21	○取組方向・取組内容の検討(その1)	
第24回	H29. 1. 23	H29. 1. 25	○取組方向・取組内容の検討(その2)	
第25回	H29. 2. 3	H29. 2. 22	○取組方向・取組内容の検討(その3)	
第26回	H29. 3. 13	H29. 3. 22	○取組方向・取組内容の検討(その4)	
	H29. 3		■広報「おやまだ」にてまちづくり構想の内容を報告	
第27回	H29. 4. 10	H29. 4. 26	○住民意見に対する意見交換(太陽光発電、内部川サイクリングロード、癒やしと健康の小山田について) ○取組方向の検討	
第28回	H29. 5. 15	H29. 5. 24	○取組方向・取組内容の全体共有と意見交換	案の調整
第29回	H29. 6. 12	H29. 6. 28	○意見に対する反映の検討 ○構想素案の最終確認 ○素案の調整について	
	H29. 7. 10		○調整用素案の検討 ○調整方法の検討	
	H29. 7~		■地区内関係機関への説明、調整	
	H29. 7~		■市役所内関係部署との調整	
	H29. 8. 29		○素案の調整について	
	H29. 9. 20		○編集作業について	
	H29. 10. 10			
第30回	H29. 11. 13	H29. 12. 8	○調整・協議の経過とまちづくり構想素案の報告 ○「推進体制」などについての検討	
	H29. 12. 18		○まちづくり構想案について ○住民への周知について	
	H30. 1. 9		○まちづくり構想の編集 ○住民への周知について	
	H30. 2		■まちづくり構想の周知(回覧)	
第31回	H30. 3. 6	H30. 3. 16	○小山田地区まちづくり構想の完成	



まちづくり委員会のようす



「まち歩き」のようす

小学生アンケートの結果

小山田小学校にご協力いただき、4年生から6年生までの児童の皆さんに回答にご協力いただきました。回答は全部で85件でした。

それぞれの質問について分類した中から、主な意見をご紹介します。

質問1

小山田地区の好きなところ、気に入っているところ、楽しめるところはどんなところですか。できるだけくわしく書いてください。

分類	件数	主な意見
自然、景観	44	➤ 登校中にカブト虫とかがつかまえられる。 ➤ 自然であふれているから外でいっぱい遊べる。よく雪がふる。虫もたくさんいる。 ➤ 空気がきれいなので病気になりにくくなった。 ➤ きれいな自然。なぜかという、さるの親子や鳥などが見られるのは、その生き物にとって、よい場所だということだと思う。だからわたしはきれいな自然が好きなところ。 ➤ 小山田地区は、花が多くてきれい。 ➤ 自然がいっぱいでたのしくすごせるところ。理由は、自然ゆたかで自然をこわさないようにしているとくみがぼくはすごいと思いました。生き物がいっぱいいるところ。理由は、生き物がいっぱいいるとへいわだなあと思うことがあるからです。 ➤ 自然がいっぱいあって空気が気持ちよくて、すずしいところが好きです。自然が多いから虫や動物とかがすめるぐらいの自然があるからうれしくて好きです。静かにすればいろいろななきごえが聞こえるからそういうところが気に入っています。豊かなので虫とりとか水の生き物をとったりできるところが楽しめます。 ➤ しぜんがいっぱいあってすごい。和無田に、マンボと、わんだ池と、そこに、ヒメコウホネのはながあること。
行事	21	➤ 夏休みの行事（あいぞめ教室、工作など）が楽しいので好きです。 ➤ 小山田地区の好きなところは、楽しめる行事がいっぱいある所です。気に入っているところは、祭や秋にある地区運動会です。地区運動会は、小山田地区の人だけではなく、ほかの地区の人ともできるので楽しいです。 ➤ 地区のまつりがたくさんあって、まつりによってそれぞれのくふうがされている。 ➤ 小山田温泉祭り（屋台など遊びなど）、天王祭（遊び、たんざくかざり） ➤ 祭りです。小山田温泉まつりや、天王祭などのお祭りがとても楽しくて、お祭りにいける日は、すごくワクワクします。だから、自然がゆたかなのと、お祭りは続けてほしいです。 ➤ 自分の地区の和無田センターで子ども会とかをしていて、びんごとかゲームをやらせてもらえるのが自分の地区できにっています。

分類		件数	主な意見
人間関係	あいさつ 声かけ	10	➤ 暗くなったときにおじいさんやおばあさんが「気をつけて帰ってな」と声をかけてくれる。 ➤ 地域の人があいさつをしてくれて気持ち良い。 ➤ 朝とうこうしている時わたしたちのことを思って信号をわたる時「おうだん中」のはたをもって、わたしたちの身を守ってくれる所が好きです。
	人間性	8	➤ 皆（地域の人）が優しいところ。 ➤ 好きな所は、地区どうしの人たちが仲が良く、いろんなことに、さんかをしている所です。 ➤ ユニークな人が多い（おもしろい話をしてくれたり）。
	仲間	6	➤ 近くにイベントがあることで友達と交流できるから。 ➤ 楽しい仲間。 ➤ 楽しめる所は、小山田地区各町で子ども会がある所。
施設	小学校	9	➤ 小山田地区がきれいでいるから学校もきれいでいられるとおもっています。小山田小は、きれいだしゆうぐもきれいだし学校の中もきれいでいます。ゆうぐがいっぱいあって好きです。もっと楽しんでやってやっていきたいです。気に入っているところもいっぱいです。小山田小学校もきれいにしていきたいです。好きです。 ➤ プールがあるから気に入っている。ゆうぐがたくさんあるからたくさん楽しめる。うんどう場が広いから、たくさんみんなであそべる。勉強がわかりやすい。 ➤ 小山田小学校です。なぜかという、遊具もいろいろあるし、テニスコートなどがあって、たのしめるからです。
	公園	8	➤ 六名、小山、堂ヶ山、西山などなどに公園があるので、友達と遊びにいった時などに、公園で遊べるので、楽しめます。 ➤ 小山町に、いこいの広場ができて楽しめる所、遊べる所ができてうれしい。自転車は道路を走ると車が通るとあぶないけど、公園だと安全だから、公園があつてよかったと思う。いこいの広場は、しばふがあるからそこでボール遊びが出来るから楽しい。走ってこけても安全だから。 ➤ ひまわり公園も楽しめます。ちきゅうぎやてつぼうやぶらんこがあるからです。
	遊び場	5	➤ たのしくてスポーツ（あそべる）ができるところが多い。 ➤ 小山田地区では、あそび場所が多いので、私は、あそぶのがすきだし、けしきがきれいなので好きです。
お店	駄菓子屋	7	➤ だがし屋さんがあることを気に入っています。やすくていっぱい買えるからいいと思います。いろいろなおかしがいっぱいあるし、ジュースもアイスも和がしもあるのですごくいいです。 ➤ 山田町のかしごがきに入っています。
	コンビニ	6	➤ コンビニが近くにあつて足りないものがあればいつでも買いに行ける。
	その他	5	➤ よしのや（鹿間）のうどんがおいしい。 ➤気に入っている所は、ちょっとした小店があることです。

分類	件数	主な意見
平和、安全	6	➤ 気にいっているところは、都会とは、ちがって、ビルがあまりないし、車もこんごつしていないから、なんだか気持ちがいいところ。 ➤ 小山田地区は都会とちがい、有害ガス、とおり魔などのことがあまりないことがいいと思います。 ➤ とかいや街はわるいガスがいっぱいあるけど、小山田は、さわやかで、やさしいかんじです。
神社	5	➤ かふ神社。なぜかという、まつりやぎょうじがあるから。 ➤ 小山田地区で天王祭があることです。小山田地区のかふ神社の七夕のときです。
茶畑	2	➤ 茶畑いっぱい。農産物がとれる。
その他	8	➤ 地区が広いところ ➤ 鹿間町や六名町が通る橋がもうすぐできるので、そこがぼくは、気にいっています。内部川かわすれたけれどそこができるので楽しみです。 ➤ 好きなところは、坂がいっぱいあって自転車であつてつたらずしいし楽しめるところ。

※分類名は、記述された内容から共通すると考えられる言葉を便宜的に抜き出したものです。

質問2

小山田地区で、困っていること、もっとこうなるといいなと思うことは、どんなことですか。できるだけ詳しく書いてください。

分類		件数	主な意見
困っている ことはない		4	➤ 何も困っていない。 ➤ 困っていることは特にない。もっと自然豊かな、豊かすぎる地区になるといいなと思う。
買 い 物	商店、コン ビニ	34	➤ 友達と行ける、店、遊ぶ所がない。ノート、えんぴつなど1人で 行って買える所がない。 ➤ 友達と遊んだ時に、お菓子などを買うところが無いから困ってい る。文房具などの勉強道具を買うところなども。 ➤ 小山町にコンビニが近くにないので、買いたい物が買えないし、 買いものする時は西山までサークルKのコンビニにいちいち行か ななきゃいけないので、小山町にコンビニがあると助かります。 ➤ ノートなどがなくなった時に、すぐノートなどが買いに行けない ことが。 ➤ だがし屋はあるけど山田町にしかないから小山町にも作ってほし いです。わたしのお父さんが子どものころはあったと聞いたけれ ど、今はないから作ってほしいです。 ➤ どうが山にスイーツやさんができてほしい。100きんができて ほしい。 ➤ たいようかがくの前のあきちに本やさんがたってほしいです。リ ゆうはしょうらいまんがかになるためにその本でちしきをたかめ ていきたいからです。
	ショッピ ングセン ター	10	➤ イオンなどのショッピングモールなどが無い。 ➤ 近くに自転車、または歩いていける大きいスーパーがない。(ほし い)
遊 び 場 ・ 施 設	公園、遊び 場	22	➤ 公園がない。水飲み場を作ってほしい。 ➤ 広くて、子どもたちのあそぶしせつがほしい。 ➤ 熱中症にならず楽しく遊べるしせつがほしい。 ➤ 小山田地区に、公園ができてほしい。小山田地区は公園がなく て、遊ぶ場と言ったら家の庭(友だちの家のにわ)やお寺です。いろ いろな行事はあるけど、遊ぶ場所がほしい。 ➤ 小山町の公園で、「いこいの広場」に遊具が1つぐらいはあってほ しい。作ってほしい。「グラウンド」は、砂がもう少したいほう がいい。
	娯楽施設	9	➤ 遊園地が近くにできたらいいと思います。 ➤ ゲームセンターが建ってほしい。
	プール	7	➤ 近くにプールをつくってほしいです。近くに涼む所がないのでプ ールに行きたくても遠くまで行かなければならないからです。 ➤ プールがちかくにできたらいいなと思う。
	図書館	5	➤ 図書かんができたらいいと思います。 ➤ 鹿間町には、ひまわりチェーンやひまわり公園などしかないの で、図書館、ゲームセンター、和がしやさんなどがほしいです。

分類		件数	主な意見
安全	交通安全	20	➤ 歩道をもう少し広くしてほしい。2列になると危ない。小山田病院の前のみぞ（みたいな所）そこがおちたら、あぶないし、もし低学年がおちたら、上るにも大変だと思うから安全にしてほしい。 ➤ 車はじこをしてほしくないです。車はちゃんとうんてんし、じてん車はちゃんとはしっこをとおっていつてぶつからないようにしてほしいです。しんごうがあんまりなくて、じこがすごくおおくなっているような気がします。 ➤ 車がいっぱいとおるのに歩道がないところがあるので、歩道ができると子どもたちがあんぜんに歩けるので歩道があったほうがいいです。 ➤ とびだしがあぶないと思ったから見えやすくしたい。 ➤ 登校下校の時の信号をわたる時よく車が信号を無視してとおっていくことです。とてもあぶないし、事故にあう可能性がすごく高いので、もっと歩道きょうをつくるなどの工夫をしてほしいです。 ➤ ミルクロードをわたらなきやだめなんだけど、よくトラックとかが信号むしで赤信号やのに来るからこわい。
	害獣	10	➤ さるがいて、いつでてくるかわからなくて、いきなり出てくるかもしれないから少しこわいのでなんとかしてください！
	防犯	4	➤ よく不審者が出る。 ➤ 小山田病院の横のせまくて、暗い道をもうすこし広く、明るくしてほしい。
交通・道路	公共交通	12	➤ バスを通してほしいです。母が車のめんきよをもっていないので、なにかあるととても不便だからです。 ➤ バスをもっとふやし交通手段を多くしてほしい。 ➤ 毎日おうふく 1 時間あるので、バスを出してほしい。電車のえきがないので、えきを近くに出してほしい。
	遠いこと、坂道	9	➤ 学校が家から遠い。 ➤ 高校がもう少しちかいとうれしいです。 ➤ 坂がきついでもっとゆるくしてほしい。 ➤ 鹿間にきゅうな坂道があつて、そこに雨がふるとつるつるなるし、竹や木があつて竹や木がたおれてきそうでこわい。
	道路	8	➤ 六名とか山田とかの道路を広くしてほしい。 ➤ 道路がガタガタしたら困る。 ➤ 道路がせまいので、自転車で遊びにいく時、とおりにくい。
環境美化		11	➤ 木が多いからちょっとだけへらしてほしい。草が多いから切してほしい。ごみがすててあるからないほうがいい。 ➤ バイクの音がうるさくてちょっとねにくい時がある。木や田んぼの周りの草をもやしてくさくて息ができないときがあつてすごくこまる（どくもでるし）。深いどぶが多くてあぶない。ごみがみちばたにおちていたり、タバコが落ちているときがある。たまにまだ火がついている。 ➤ しかまのバスていのちかくのさかに、ゴミをすててはいけませんとかいてあるかんばんがあるのに、ゴミをすててあることが、困りました。木などをもやしているおじいさんがいて、困りました。

分類	件数	主な意見
自然	5	➤ もっと自然が多ければいいと思う。 ➤ たいようこうはつでんがいっぱいしてあって、しぜんがうばわれていきそうでこわい。
行事	2	➤ わたしは西山ちくに住んでいて、もっとイベントをふやしてほしいなと思った。
その他	8	➤ マスコットキャラがいるといい（小山田の）。 ➤ 団地、アパートなどがほしい。 ➤ あき屋が多い。 ➤ スポーツクラブをつくってください。病院をつくって。 ➤ もっと協力ができてほしいと思います。 ➤ あついです。（すずしい工夫の学校）

※分類名は、記述された内容から共通すると考えられる言葉を便宜的に抜き出したものです。

質問3 10年後に、こんな小山田地区にしたいと思うことを教えてください。

分類	件数	主な意見
便利	35	➤ 快適な町にしたい。電車とか小さな病院とかなど。 ➤ 公園やお店などがたくさんあるけど、自然もある小山田地区。道路もちょうどいいぐらいの大きさと、歩道もあってほしい。バスなどの交通きかんと、発達してほしい。 ➤ ノートとかがきれたらすぐ買いに行けるようにしたいと思う。 ➤ イオンモールなどを建てて、都会にしたい。 ➤ 店がなにもないからもっと店がふえて、にぎやかになってほしい。
元気、 にぎわい	19	➤ 子供が元気よくすごせる小山田地区。 ➤ 人がいっぱい活気ある楽しい地区に。そのためには小山田をもっとPRしていけば良いと思う。たとえばゆるキャラとか。 ➤ このまちをよりすみやすく あきやのないところ。
環境、 自然	18	➤ 田畑がひろがっていてみどりいっぱいの自然がある、今のままでいてほしいです。 ➤ いまよりもかんきょうがよくて、知らない人々で、協力ができる地区がいいと思う。 ➤ 自然がきれいで体にわるいはいなどが無い地区にしたい。そして自然の木を切りたおして自然はかいたすのがなく、緑や季節によって自然の色がかわる地区になってほしい。
楽しさ、 笑顔	17	➤ 楽しくて笑顔があふれる小山田地区！ ➤ 今の小山田地区よりたのしくすごせたり、友達のことを考える小山田地区にしたいなと思いました。 ➤ 自然がいっぱいで、楽しいまち、ペットショップがある、カブトとクワガタがいっぱいとれる。
施設	17	➤ もうすこし、店・公共しせつなどをふやしたいと思います。若者たちに多くの知識をあたえるため、多くの本がそろっている図書館をふやしたいと思う。 ➤ 小さな子供も小学生も遊べる場所がある小山田がいいです。（おじいさんもおばあさんも） ➤ プールやかんこう的な所がいっぱいふやしてほしい。
きれい	9	➤ ゴミが落ちていたら、だれのもないけどひろえる人がいるようにしたい。 ➤ ごみのないきれいな小山田地区がいい。いろんな花がさいていてきれいな小山田地区がいい。
人間関係	8	➤ 地域の人同士と家族のような関係でいられる小山田地区。 ➤ おじいさんおばあさんを大切に、わるい子や人がいない自然豊かな地区。
安心・安全	8	➤ 事故なく歩いてかえられること。 ➤ もっと緑がいっぱいでのんびりした、みんなでたすけあえたり、どろぼうはぜったいいないところになりたいです。

分類	件数	主な意見
おだやか、 平和	6	➤ 産業、農業を発展させ、大きな、私たちのふるさとの田舎でもある、都会でもある地域になってほしい。 ➤ へいわで、自然な所にしたい。みんながなかよしでやさしい所でおだやかがいいです。
行事	6	➤ このまま、自然がいっぱい続いていき、祭りなどの行事が、かわらなく続いてほしいです。 ➤ 子どもや大人もたのしめる小山田地区にしてほしい。もっとにぎやかで、冬とかにもいっぱいおまつりをしてほしい。
人が集まる	5	➤ いろんな人がこれる小山田地区にしたい。(いい人だけ)
働く、産業	2	➤ 働けるところがあってほしい。
その他	3	➤ 10年後の小山田はかわらずそのままでいてほしいです。

※分類名は、記述された内容から共通すると考えられる言葉を便宜的に抜き出したものです。

質問

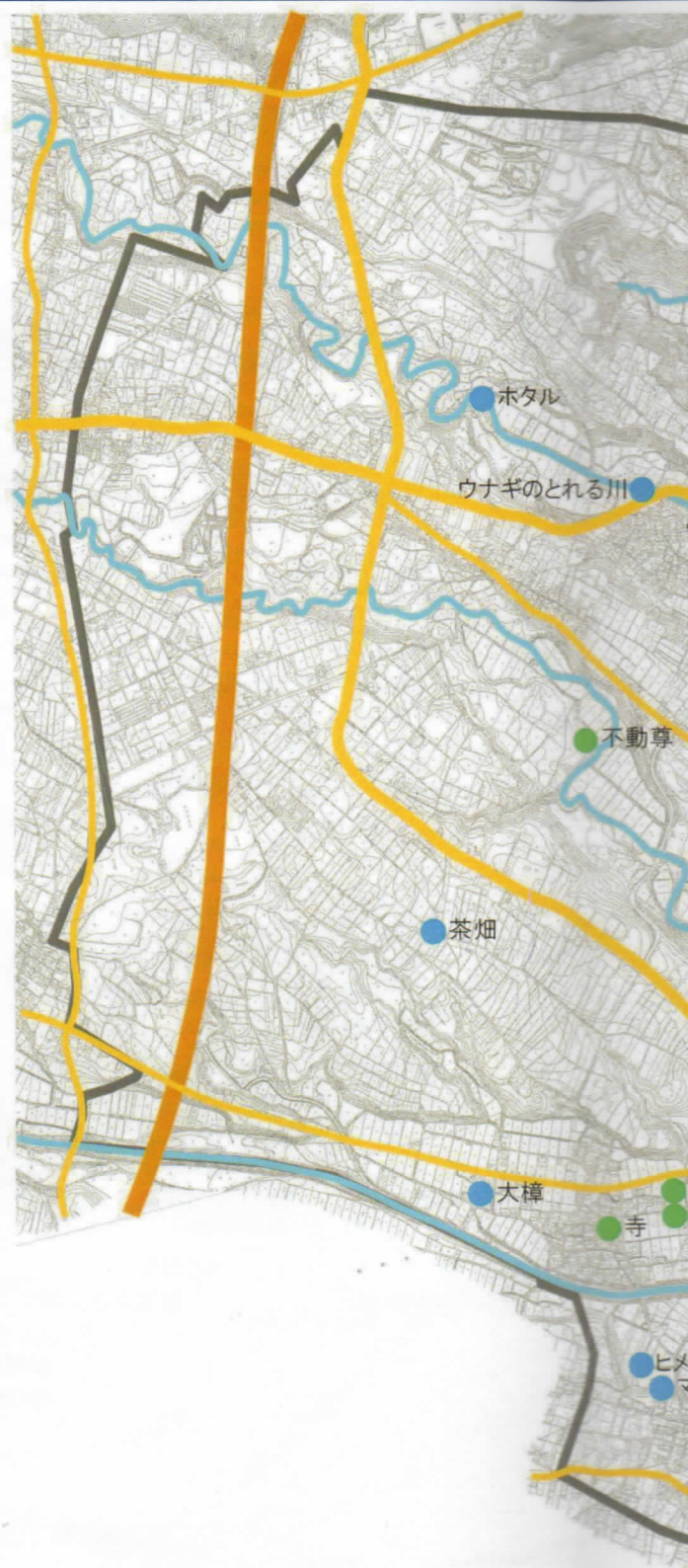
あなたの将来の夢や希望があれば教えてください。

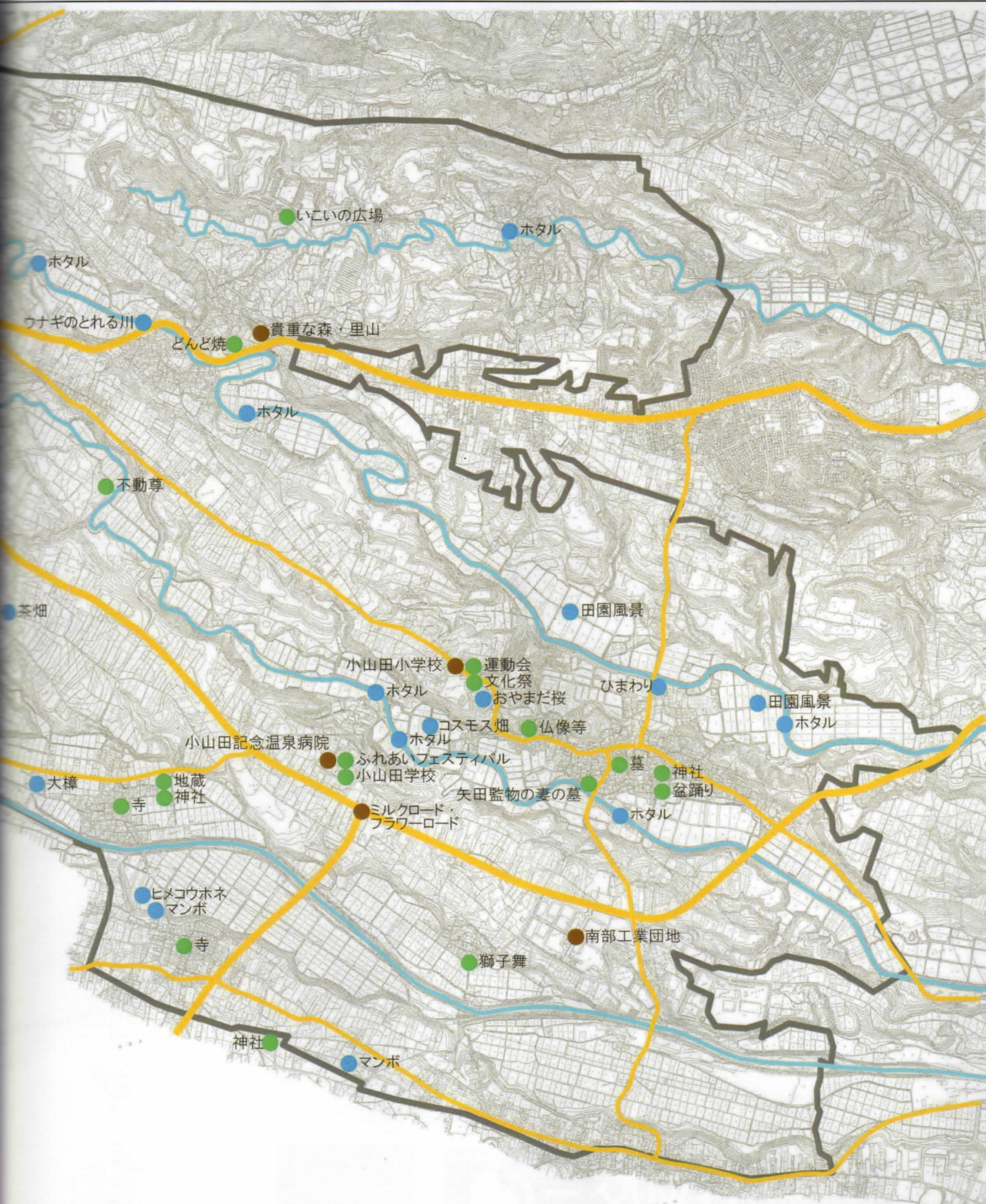
職業名	件数
サッカー選手	9
看護師	5
教師	
パティシエ	
ペットショップ	4
美容師	3
保育士	
医師	2
ウェディングプランナー	
運転士	
警察官	
助産師	
大工	
トリマー	
漫画家	
医療職、うどん屋、お金持ち、科学者、歌手、 キャビンアテンダント、芸能人、ゲーム作家、 ゲームセンター、考古学者、飼育係、職人、 書道家、ダイバー、ダンサー、釣り人、 デザイナー、テニス選手、店員、農家、 バスケットボール、バスケット選手、パン屋、ピアニスト、 ファッションデザイナー、フラワーデザイナー、 モデル、漁師	各 1
未定	2
その他（職業以外の夢）	10

資源マップ

この資源マップは、第3回～第5回のまちづくり委員会において地図上に書き込まれたものを清書したものです。

- 「自然・農業」に関する資源
- 「文化・人」に関する資源
- 「施設・土地利用・交通」に関する資源





課題マップ

この課題マップは、第3回～第5回のまちづくり委員会において地図上に書き込まれたものを清書したものです。

- ◆ 「自然・農業」に関する課題
- ◆ 「文化・人」に関する課題
- ◆ 「施設・土地利用・交通」に関する課題



小山田地区まちづくり構想

小山田地区まちづくり構想策定委員会
(まちづくり委員会)

平成 30 年 3 月 発行